

一般社団法人日本遺伝性腫瘍学会 2022 年度 第 2 回理事会議事録

日 時：2022 年 10 月 4 日（火） 15:00~18:00

場 所：web 開催（zoom）

出席予定者： 理事長 石田 秀行
副理事長 青木 大輔 石川 秀樹
理 事 有賀 智之 井本 逸勢 大住 省三 川崎 優子 隈元 謙介 下平 秀樹
西垣 昌和 平沢 晃 平田 敬治 門馬 智之 山口 達郎 吉田 輝彦
監 事 鈴木 眞一 武田 祐子 田村 和朗

司法書士 寺本 俊孝

事務局：石坂 和子 内山 覚巳

編集事務局：岡田 雅子

Web に理事 15 名、監事 3 名全員が出席し、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態にあり、本会が成立することが確認された。

議 事：

【報告・審議事項】

1. 理事長報告

石田理事長より配布資料にもとづき、理事長報告が行われ、あわせてへるす出版編集事務局より本学会監修刊行物 2 冊の出版状況も報告された。

2. 庶務報告

事務局から配布資料にもとづき、会員数、新規入会者、会費納入状況（2022 年 8 月 31 日現在）について報告された。

3. 第 28 回学術集会報告

田中屋会長より、配布資料にもとづき、学術集会・市民公開講座の開催報告、ならびに収支決算書（仮）が報告された。

4. 第 29 回学術集会（2023 年）準備状況報告

杉本会長より、第 29 回学術集会の準備状況について報告された。

石田理事長より、開催期間中の理事会・評議員会の開催会場確保・費用分担について、事務局・総務委員会と相談するよう、また市民公開講座の開催についても検討するよう依頼があった。

5. 各種委員会報告・審議事項

①学術・教育委員会：平沢担当理事

配布資料に基づき、委員会活動について報告された。

審議事項として、委員会規約第3条の改定が提案され、承認された。

②新規委員会立ち上げについて：平沢理事

保険診療委員会（仮称）の常設委員会としての新規立ち上げについて審議され、承認された。

担当理事に平沢晃先生、委員長に吉田玲子先生が指名・承認された。委員のメンバーについては、理事会後に通信理事会で審議することとなった。

③会則委員会：門馬担当理事

配布資料に基づき、委員会活動について報告された。

審議事項として、保険診療委員会立ち上げのため定款細則の改定について審議され、承認された。

④専門医・HTC/FTC 制度委員会：隈元担当理事、川崎担当理事

配布資料に基づき、専門医制度小委員会活動報告、HTC/FTC 制度小委員会活動報告、第6回遺伝性腫瘍専門医認定試験、専門医更新、暫定指導医更新、正規指導医更新に関する業務予定について報告された。

審議事項として、副委員長、委員の追加・変更、新規暫定指導医認定、新規研修施設認定、専門医認定試験経過措置の延長、本学会専門医申請における日本産科婦人科遺伝診療学会ロールプレイ研修会の単位認定について審議され、承認された。

⑤遺伝カウンセリング委員会：西垣担当理事

配布資料に基づき、委員会活動、規約の誤記の修正について報告された。

審議事項として、遺伝性腫瘍 e-learning へのコンテンツ追加について提案があった。新たに e-learning を作成する場合は、Medical Prime で作成していただくことが提案され、今後は新規のコンテンツ作成後に再度審議することとなった。

⑥総務委員会：平田担当理事

委員変更の報告、ならびに今後の評議員選挙を見据えた会員の属性情報について検討中であること、本学会会員管理を担当する学会バンクで来年4月より会員属性分類をカスタマイズ出来る機能を実装予定であることが報告された。

⑦財務委員会：青木担当理事

報告事項なし

⑧編集委員会：下平担当理事

配布資料にもとづき、「遺伝性腫瘍」の発刊状況、投稿論文審査状況、投稿勧誘予定について報告された。

⑨遺伝性腫瘍セミナー委員会：吉田担当理事

配布資料にもとづき、第25回遺伝性腫瘍セミナーの準備状況について報告された。審議事項として、委員の追加について提案があり、承認された。

⑩将来検討委員会：石田理事長

配布資料に基づき、学術集会に関するアンケート集計結果について報告された。

⑪ガイドライン委員会：大住担当理事

報告事項なし

⑫COI委員会：大住担当理事

COI申告について、対象者へ連絡済みであることが報告された。遺伝性腫瘍研究の利益相反状態開示に関する指針細則について文言の修正を行い、ホームページ修正済みであることが報告された。

⑬倫理審査委員会：井本担当理事

配布資料に基づき、審議事項として倫理審査委員会規約の改定、演題募集における倫理的手続きに関する指針の改定について提案があった。1か月間理事より意見がなければ承認とし、改定することとなった。

⑭広報委員会：有賀担当理事

配布資料に基づき、委員会活動、ニュースレター配信状況、ホームページリニューアル、看護系学会との連携を含む下半期の活動予定について報告された。

⑮国際委員会・がんゲノム・データベース（GDB）委員会：山口担当理事

配布資料に基づき、委員会活動について報告された。審議事項として、国際共同研究も視野に置いたレジストリ研究の実施について提案された。実施の可否については具体案を次回の理事会に提出することとなった。

⑯作業部会委員会：石川担当理事

LFS部会の進捗状況、Cowden症候群部会の進捗状況について報告された。

審議事項として、新規の部会（serrated polyposis syndrome: SPS部会）申請提案があり、遺伝性腫瘍に特化した部会員の追加、研究フローチャート、海外レジストリの現況、等について説明が行われ、承認された。今年度から部会費を施行とすることとなった。

4. その他

大住理事より、本学会が後援する第 15 回遺伝カウンセラーのための実践集中講座の開催概要について報告された。

石川理事より、本学会 30 周年記念事業に関する進捗状況が報告された。

次回の理事会について、3 月の金曜・土曜プラス平日で調整することとなった。

以上をもって議事の全部を終了し、議長は 18 時 00 分閉会を宣した。

以上